

| | | | | | |
|-----|----------------|---------------|------|-----|---|
| 科目名 | 音楽Ⅰ | 教科 | 芸術 | 単位数 | 2 |
| 教材 | MOUSA 1(教育芸術社) | 教材費 (予定定価) | 470円 | | |

| | | |
|--------|------|---------|
| 系列選択科目 | 必修系列 | 選択できる系列 |
|--------|------|---------|

| | | |
|--------|--------|---|
| 自由選択科目 | 選択する学年 | 1 |
|--------|--------|---|

| | |
|------------------------|---|
| 選択の条件 | なし |
| 選択のめやす | 歌唱や楽器演奏を通して表現活動することに喜びを感じ他者と協力をしながら音楽を作り上げることにやりがいを感じ、毎時間、自らの目標や課題を定めて意欲的に取り組める。 |
| 学習目標 (どのような力をつけるのか) | 音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。音楽の基礎となる楽典の理解力を高める。主体的に活動する力、グループで目標に向けて協力する力、課題達成に向けての計画力を養うことを目標とする。 |
| 学習方法 (授業の進め方・学習の仕方) | 曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と係わらせてイメージをもって歌う。グループで発表に向けてどのような工夫が必要かを考え、より良い発表に仕上げる。歴史的背景や表現の特徴について理解を深め鑑賞し自分なりの考えをまとめる。 |
| 評価方法 | 歌唱や楽器演奏、鑑賞に関して日々の授業での取り組む様子や態度、またプリント類の提出を通して4観点を基に総合的に判断する。また実技試験においては、歌唱や楽器等の技能を向上し主体的に発表できているかを評価する。 |

学習計画
(1年間の授業計画)

| 学習内容 | 学習活動 |
|--|--|
| 1学期 歌唱 「校歌」 イタリア歌曲「Caro mio ben」 表現 ボディパーカッション「プリマス ロック」 鑑賞 バレエ音楽「ボレロ」 | イタリア語の発音に慣れ、歌詞の意味を味わいながら歌う。 リズム打ちを通して、体でリズムを取りながら表現し、グループで協力してパフォーマンスを行う。 |
| 2学期 器楽 ギター ・タブ譜 ・ダイアグラム ・弾き歌い 鑑賞 「アランブラ宮殿の思い出」 組曲「動物の謝肉祭」 | 基本的なギターの奏法を身につける。 鑑賞を通じて、楽曲の魅力について話し合う。 |
| 3学期 歌唱 ミュージカル「美女と野獣」 鑑賞 舞台芸術 | 身近な舞台芸術であるミュージカルに触れ、楽曲の美しさや物語の内容を知り味わう。 |

評価の観点

| | |
|----------|--|
| 関心・意欲・態度 | 学習内容に意欲をもち、意欲的・主体的に実技に取り組んでいる。 |
| 思考・判断・表現 | 豊かな感性で音楽の良さや美しさを感じ取り、音楽表現の工夫をしている。 |
| 技能 | 楽曲のイメージを表現するために必要な発声法や演奏法の実技を身に付けている。 |
| 知識・理解 | 楽曲の曲想を理解して鑑賞し、その良さや美しさを楽しんでいる。楽曲の文化的・歴史的背景や作曲者および演奏者による表現の特徴を理解している。 |

| | | | | | |
|-----|-------------|---------------|-------------------------|-----|---|
| 科目名 | 美術 I | 教科 | 芸術 | 単位数 | 2 |
| 教材 | ①光村図書 美術 I | 教材費 (予定定価) | ①1,045円 別途教材費:3,000円 | | |

| | | | | |
|-----------------------|--------|------|---------|---------|
| <input type="radio"/> | 系列選択科目 | 必修系列 | 選択できる系列 | 人間文化と芸術 |
|-----------------------|--------|------|---------|---------|

| | | | |
|-----------------------|--------|--------|---|
| <input type="radio"/> | 自由選択科目 | 選択する学年 | 2 |
|-----------------------|--------|--------|---|

| | |
|------------------------|---|
| 選択の条件 | |
| 選択のめやす | 美術全般(絵画、立体表現など)に関心があり、美術作品を制作することに喜びを感じ、自らの制作能力を高めたい人、作品が完成するまで静かに落ち着いて、粘り強く制作できる、向上心のある人。 |
| 学習目標 (どのような力をつけるのか) | 美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。 |
| 学習方法 (授業の進め方・学習の仕方) | 課題制作、作品鑑賞、発表・ディスカッションを通じての学習。 |
| 評価方法 | 授業で制作する作品の評価(色合いや質感の表現、描き込み具合など)。 授業への取り組みの評価(活動の様子、制作や説明を聞く姿勢、指摘された箇所を改善しているか、用具の準備や後片付けの様子など)。 |

学習計画
(1年間の授業計画)

| 学習内容 | 学習活動 |
|--|---|
| ○鉛筆表現 立体表現 グラデーション 模写 ○絵の具表現 混色基礎と色相環 ○遠近法 遠近法を使った表現 ○立体 彫塑など | 様々な画材を使いこなす基礎的な技法、知識を習得し、基本的な表現能力を身に付ける。 身に付けた基本的表現能力を伸ばすため、さらに高度な技術の習得を目指し、種々の作品を鑑賞し、新しい気づきや表現方法を学び、創造的な作品作りを目指します。 |

評価の観点

| | |
|----------|---|
| 関心・意欲・態度 | 様々な表現方法に関心を持ち、道具や作品を大切に扱おうとしているか。 意欲的に取り組み、基本的な知識、制作技法や道具の取り扱い方を身に付けようとしている。 |
| 思考・判断・表現 | 作品に向き合い、自分らしさを追求し、工夫して表現している。 自他の作品を大切に扱う心と、表現者としての誇りが作品に現れている。 |
| 技能 | 落ち着いて制作に取り組み、技法を身に付け、丁寧な作業と観察が、作品に反映されている。 |
| 知識・理解 | 古典および自分や他の人の作品を鑑賞し、その表現方法について理解しようとしている。 |

| | | | | | |
|-----|-------------------------------------|----|---------------|-----------------------|---|
| 科目名 | 書道 I | 教科 | 芸術 | 単位数 | 2 |
| 教材 | ①「書 I」(光村図書)・「高等書範」(奈良県高等学校書道教育研究会) | | 教材費 (予定定価) | ①490円 用具用材費:4,500円 | |

| | | |
|--------|------|---------|
| 系列選択科目 | 必修系列 | 選択できる系列 |
|--------|------|---------|

| | | |
|--------|--------|---|
| 自由選択科目 | 選択する学年 | 1 |
|--------|--------|---|

| | |
|------------------------|---|
| 選択の条件 | なし |
| 選択のめやす | 書に興味があり、書写能力を向上させたい人。 |
| 学習目標 (どのような力をつけるのか) | 個性豊かな表現(書く)と鑑賞(観る)の能力を伸ばす。 書の伝統と文化について理解を深める。 |
| 学習方法 (授業の進め方・学習の仕方) | 中国・日本の古典や古筆を鑑賞し、臨書する。 現代の作品を参考に、個性を生かした作品作りをする。 |
| 評価方法 | 日々の授業の中で、作品の制作過程および作品を4観点を基に評価する。 作品制作へ取り組む姿勢や態度、自己の理想の作品を制作するための向上心をもって取り組んでいるかどうかを机間支援や作品を通じて総合的に判断する。 |

学習計画
(1年間の授業計画)

| 学習内容 | 学習活動 |
|--------------|-----------------------------|
| 楷書 | 楷書・行書の特徴や用筆、運筆、字形の取り方を学習する。 |
| 行書 | |
| 仮名 | 仮名の成立、平仮名や片仮名について学習する。 |
| 漢字仮名交じり | 漢字と仮名を調和させ、自分で選んだ言葉を作品にする。 |
| 硬筆 | ボールペンで書く練習をする。 |
| 生活の中の書 | はがきの宛名や年賀状の基本的な書き方を学習する。 |
| 高等書範を用いた作品制作 | 高等書範の課題を制作し出品する。 |

評価の観点

| | |
|----------|---|
| 関心・意欲・態度 | 各古典の臨書・鑑賞を通して書之美とその表現技法に関心をもち、積極的に表現技法を高めようとしている。 |
| 思考・判断・表現 | 各古典の臨書・鑑賞を通して書之美とその表現技法を学び、普遍性のある表現を工夫している。 |
| 技能 | 書の基礎・基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身に付け、表現している。 |
| 知識・理解 | 鑑賞と表現は相互に関連していることを理解し、書の良さや美しさを感じ取っている。 |

| | | | | | |
|-----|----------------|---------------|--------|-----|---|
| 科目名 | 音楽Ⅱ | 教科 | 芸術 | 単位数 | 2 |
| 教材 | 高校生の音楽2(教育芸術社) | 教材費 (予定定価) | 1,000円 | | |

| | | | | |
|-----------------------|--------|------|---------|---------|
| <input type="radio"/> | 系列選択科目 | 必修系列 | 選択できる系列 | 人間文化と芸術 |
|-----------------------|--------|------|---------|---------|

| | | | |
|-----------------------|--------|--------|---|
| <input type="radio"/> | 自由選択科目 | 選択する学年 | 2 |
|-----------------------|--------|--------|---|

| | |
|------------------------|---|
| 選択の条件 | 音楽Ⅰを履修していること。 |
| 選択のめやす | 音楽に興味があり、継続して学びたい人。 |
| 学習目標 (どのような力をつけるのか) | 音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。音楽の基礎となる楽典の理解力を高める。主体的に活動する力、グループで目標に向けて協力する力、課題達成に向けての計画力を養うことを目標とする。 |
| 学習方法 (授業の進め方・学習の仕方) | 曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と係わらせてイメージをもって歌う。グループで発表に向けてどのような工夫が必要かを考え、より良い発表に仕上げる。歴史的背景や表現の特徴について理解を深め鑑賞し自分なりの考えをまとめる。 |
| 評価方法 | 歌唱や器楽演奏、鑑賞に関して日々の授業に取り組む様子、またプリント類の提出を通して4観点を基に総合的に判断する。また実技試験においては、歌唱や器楽等の技能を向上させ主体的に発表できているかを評価する。 |

学習計画
(1年間の授業計画)

| 学習内容 | 学習活動 |
|---|--|
| 1学期 歌唱「見上げてごらん夜の星を」(2部合唱) [糸]等 リズムアンサンブル「クラッピング カルテット」 | 歌詞の内容を味わいながらハーモニーの美しさを感じて歌う。 音色の組み合わせを工夫し、グループで協力して観客を魅了するパフォーマンスを目指す。 |
| 2学期 歌唱・ギター「スタンド バイ ミー」 | 循環コード、ベースラインのパターン、メロディーの展開などを理解してそれぞれのパートをよく聞き合い合奏する。 |
| 3学期 歌唱「からたちの花」 鑑賞「ウエストサイド物語」 | 歌詞の意味を理解して歌う。日本歌曲の音量バランスを考え美しい響きを追求する。 身近な舞台芸術ミュージカルに触れ、楽曲の美しさや物語の内容を知り味わう。 |

評価の観点

| | |
|----------|--|
| 関心・意欲・態度 | イメージをもって歌ったり鑑賞したりする。学習に主体的に取り組もうとし、実践的な態度で取り組んでいる。 |
| 思考・判断・表現 | 音楽を形作っている要素とそれらの働きを理解すると共に、曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせてどのように歌うか表現に意図をもっている。 |
| 技能 | 楽曲のイメージを表現するために必要な発声法や演奏法を考え工夫している。 |
| 知識・理解 | 楽曲の曲想を理解して鑑賞し、その良さや美しさを味わっている。楽曲の文化的・歴史的背景や作曲家および演奏者による表現の特徴を理解している。 |

| | | | | | |
|-----|------------|----|---------------|-----------------------|---|
| 科目名 | 美術Ⅱ | 教科 | 美術 | 単位数 | 2 |
| 教材 | ①光村図書 美術Ⅱ | | 教材費 (予定定価) | ①830円 別途教材費:3,000円 | |

| | | | | |
|-----------------------|--------|------|---------|---------|
| <input type="radio"/> | 系列選択科目 | 必修系列 | 選択できる系列 | 人間文化と芸術 |
|-----------------------|--------|------|---------|---------|

| | | | |
|-----------------------|--------|--------|---|
| <input type="radio"/> | 自由選択科目 | 選択する学年 | 2 |
|-----------------------|--------|--------|---|

| | |
|------------------------|--|
| 選択の条件 | 美術Ⅰを履修していること。 |
| 選択のめやす | 美術に興味、関心があり、作品をより良くする為の努力ができる人。 |
| 学習目標 (どのような力をつけるのか) | 美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。 |
| 学習方法 (授業の進め方・学習の仕方) | 課題制作、作品鑑賞、発表・ディスカッションを通じた学習。 |
| 評価方法 | 授業で制作する作品の評価(色合いや質感の表現、描き込み具合など)。 授業への取り組みの評価(活動状況、制作や説明を聞く姿勢、指摘された箇所を改善しているか、用具の準備や後片付けの様子など)。 |

学習計画
(1年間の授業計画)

| 学習内容 | 学習活動 |
|-----------------------------|--|
| ○絵画表現 デッサン 自画像 | ・対象物をじっくりと観察し、物体の特徴を捉える力、観察力を養う。 |
| ○立体 粘土造形 | ・粘土による立体造形を行い、粘土に親しむとともに立体ならではの造形表現について学ぶ。 |
| ○デザイン 生活の中のデザイン | ・身近にある生活用品のデザインについて考え、制作し発表する。 |
| ○鑑賞 映像鑑賞 アニメーション 作品鑑賞 | ・アニメーション映像を鑑賞し、作品について感想や意見を個人で発表する。 |

評価の観点

| | |
|----------|---|
| 関心・意欲・態度 | 説明を聞き理解しようとしている。また、用具を大切に扱い、準備・片付けができていないか、忘れ物等をしない等、授業の決まりを守っている。 |
| 思考・判断・表現 | 感性や想像力を働かせながら対象や物事を深く見つめ、良いアイデアが出せる。完成を想像しながら発想を練ることができる。 |
| 技能 | 表現の技能を身に付け、表現意図に合う表現方法を工夫しながら創造的に制作できる。 |
| 知識・理解 | 自他の作品の良さを味わうことができた。また、自然、美術作品、生活の中の造形、文化遺産の良さや美しさを感じ取り、理解や見方を深めることができる。 |

| | | | | | | |
|-----|---------------------------------------|--|----|---------------|-------------|---|
| 科目名 | 書道Ⅱ | | 教科 | 芸術 | 単位数 | 2 |
| 教材 | ①「書Ⅱ」(光村図書) ②各種、用具・用材(別途、学級費等から支出) | | | 教材費 (予定定価) | ① ②3000円 | |

| | | | | |
|-----------------------|--------|------|---------|---------|
| <input type="radio"/> | 系列選択科目 | 必修系列 | 選択できる系列 | 人間文化と芸術 |
|-----------------------|--------|------|---------|---------|

| | | | |
|-----------------------|--------|--------|---|
| <input type="radio"/> | 自由選択科目 | 選択する学年 | 2 |
|-----------------------|--------|--------|---|

| | |
|------------------------|---|
| 選択の条件 | 書道Ⅰを履修していること。 |
| 選択のめやす | 書に興味があり、継続して学びたい人。 |
| 学習目標 (どのような力をつけるのか) | 個性豊かな表現(書く)と鑑賞(観る)の能力を伸ばす。 書の伝統と文化について理解を深める。 |
| 学習方法 (授業の進め方・学習の仕方) | 中国・日本の古典や古筆を鑑賞し、臨書する。 現代の作品を参考に、個性を生かした作品作りをする。 |
| 評価方法 | 日々の授業の中で、作品の制作過程および作品を4観点を基に評価する。 作品制作へ取り組む姿勢や態度、自己の理想の作品を制作するための向上心をもって取り組んでいるかどうかを机間支援や作品を通じて総合的に判断する。 |

学習計画
(1年間の授業計画)

| 学習内容 | 学習活動 |
|----------------|---------------------------|
| 隷書 草書 | 日中の古典を手本とし、隷書・草書の基礎を学習する。 |
| 楷書 行書 仮名 | 楷書・行書・仮名の発展的な学習をする。 |
| 篆書 篆刻 | 篆書を学習し、姓名印を刻す。 |
| 漢字仮名交じり | 自分の選んだ漢字仮名交じりの言葉を書く。 |
| 高等書範を用いた作品制作 | 高等書範の課題を制作し出品する。 |

評価

| | | |
|-------------|----|---|
| 書への関心・意欲・態度 | 観点 | 書を愛好し、書の文化や伝統について関心をもち、意欲的・主体的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを味わおうとする。 |
| | 方法 | 毎回の授業で制作する作品や自己評価シート、単元ごとに取り組む書道史に関するワークシートで評価するとともに、単元ごとに行うグループ討議の様子を基に総合的に評価する。 |
| 書表現の構想と工夫 | 観点 | 感性を働かせて書のおよさや美しさを感じ取り、感興や意図に応じて素材を選定し、個性豊かで創造的な表現を工夫する。 |
| | 方法 | 毎回の授業で制作する作品や作品の草稿を基に評価する。 |
| 創造的な書表現の技能 | 観点 | 個性豊かで創造的な表現をするために、様々な形式に応じて表現する技能を身に付けている。 |
| | 方法 | 毎回の授業で制作する作品を基に評価する。 |
| 鑑賞の能力 | 観点 | 書の美の諸要素を把握し、書の現代的意義や日本及び中国等の書の歴史・文化などを理解し、そのよさや美しさを個性豊かに味わう。 |
| | 方法 | 単元ごとに取り組む鑑賞および書道史に関するワークシートを基に評価する。 |

| | | | | | |
|-----|------------|---------------|--------|-----|---|
| 科目名 | 音楽Ⅲ | 教科 | 芸術 | 単位数 | 2 |
| 教材 | 音楽Ⅲ(教育出版) | 教材費 (予定定価) | 1,000円 | | |

| | | | | |
|-----------------------|--------|------|---------|---------|
| <input type="radio"/> | 系列選択科目 | 必修系列 | 選択できる系列 | 人間文化と芸術 |
|-----------------------|--------|------|---------|---------|

| | | | |
|-----------------------|--------|--------|---|
| <input type="radio"/> | 自由選択科目 | 選択する学年 | 3 |
|-----------------------|--------|--------|---|

| | |
|------------------------|---|
| 選択の条件 | 音楽Ⅱを履修していること。 |
| 選択のめやす | 音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好したい人。 |
| 学習目標 (どのような力をつけるのか) | 音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。 主体的に活動する力、グループで目標に向けて協力する力、課題達成に向けての計画力を養うことを目標とする。 |
| 学習方法 (授業の進め方・学習の仕方) | 曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と係わらせてイメージをもって歌う。グループで発表に向けてどのような工夫が必要かを考え、より良い発表に仕上げる。歴史的背景や表現の特徴について理解を深め鑑賞し自分なりの考えをまとめる。 |
| 評価方法 | 歌唱や器楽演奏、鑑賞に関して日々の授業での取り組む様子や態度、またプリント類の提出を通して4観点を基に総合的に判断する。また実技試験においては、歌唱や器楽等の技能を向上し主体的に発表できているかを評価する。 |

学習計画
(1年間の授業計画)

| 学習内容 | 学習活動 |
|--|--|
| 1学期 「卒業写真」2部合唱 「平城山」(斉唱)等 アンサンブル演奏「イエスタデイ」 | 歌詞の内容を味わいながらハーモニーの美しさを感じて歌う。 歌詞の意味を理解する。日本歌曲の音量バランスを考え美しい響きを追求する。 キーボードを中心に、階名の読み方を理解し、グループでの発表に向けて取り組む。 |
| 2学期 歌唱「ヘイジュート」 幼児音楽の弾き語りキーボード「ぞうさん」「思い出のアルバム」等 | 英語の歌詞で歌い、フレーズを感じながら歌う。 それぞれの楽曲の良さを踏まえ、教える対象者の年齢とねらいを設定する。弾き語りの演奏を発表し合う。 速度や調性、拍子などのリズム、旋律等の音楽を形作っている要素に基づき楽曲を分析する。 |
| 3学期 オペラ鑑賞「トゥーランドット」 | プッチーニの作品であるオペラ「トゥーランドット」を題材に総合音楽とはどのようなものかを学ぶ。 |

評価の観点

| | |
|----------|---|
| 関心・意欲・態度 | 楽曲の表現内容に関心を持ち、表現意図をもって創造的に演奏や歌唱に主体的に取り組もうとしている。 |
| 思考・判断・表現 | 音楽を形づくっている要素とそれらの働きが生み出す特質や雰囲気などを甘受しながら、表現意図をもっている。 |
| 技能 | 表現意図をもって音楽表現をするために必要な発声、呼吸法などを身に付け、創造的に表している。 |
| 知識・理解 | 総合芸術としてのオペラとほかの芸術や文化とのかかわりを理解し、楽曲や演奏を解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 |

| | | | | | |
|-----|------------|----|---------------|-----------------------|---|
| 科目名 | 美術Ⅲ | 教科 | 美術 | 単位数 | 2 |
| 教材 | ①光村図書 美術Ⅲ | | 教材費 (予定定価) | ①620円 別途教材費:3,000円 | |

| | | | | |
|-----------------------|--------|------|---------|---------|
| <input type="radio"/> | 系列選択科目 | 必修系列 | 選択できる系列 | 人間文化と芸術 |
|-----------------------|--------|------|---------|---------|

| | | | |
|-----------------------|--------|--------|---|
| <input type="radio"/> | 自由選択科目 | 選択する学年 | 3 |
|-----------------------|--------|--------|---|

| | |
|------------------------|---|
| 選択の条件 | 美術Ⅱを履修していること。 |
| 選択のめやす | 美術の知識をより深く身につけ、継続して学びたい人。 |
| 学習目標 (どのような力をつけるのか) | 美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。 |
| 学習方法 (授業の進め方・学習の仕方) | 課題制作、鑑賞、発表・ディスカッションを通じての学習。 |
| 評価方法 | 授業で制作する作品の評価(色合いや質感の表現、描き込み具合など)。 授業への取り組みの評価(出席、制作や説明を聞く姿勢、指摘された箇所を改善しているか、用具の準備や後片けの様子など)。 |

学習計画
(1年間の授業計画)

| 学習内容 | 学習活動 |
|---------------------|---|
| ○絵画表現 アクリル画 | ・アクリル絵の具を用いて独創的な表現を探求する。 |
| ○立体 塔の制作 | ・可塑性の高いスタイロフォーム等を用いてオリジナリティー溢れる、塔を制作する。 |
| ○鑑賞 作品鑑賞 映像鑑賞 | ・完成した作品や映像作品の感想や工夫点について意見交換をし、発表する。 |

評価の観点

| | |
|----------|---|
| 関心・意欲・態度 | 説明を聞く姿勢が良く、授業での準備・片付け、忘れ物等をせずに授業の決まりを守っている。 |
| 思考・判断・表現 | 感性や想像力を働かせながら対象や物事を深く見つめ、良いアイデアが出せた。完成を想像しながら発想を練ることができる。 |
| 技能 | 表現の技能を身につけ、表現意図に合う表現方法を工夫しながら創造的に制作できる。 |
| 知識・理解 | 自他の作品の良さを味わうことができた。また、自然、美術作品、生活の中の造形、文化遺産の良さや美しさを感じ取り、理解や見方を深めることができる。 |

| | | | | | |
|-----|------------------------------------|----|---------------|-----------------------|---|
| 科目名 | 書道Ⅲ | 教科 | 芸術 | 単位数 | 2 |
| 教材 | ①「書Ⅲ」(光村図書)・「高等書範」(奈良県高等学校書道教育研究会) | | 教材費 (予定定価) | ①395円 用具用材費:3,000円 | |

| | | | | |
|-----------------------|--------|------|---------|---------|
| <input type="radio"/> | 系列選択科目 | 必修系列 | 選択できる系列 | 人間文化と芸術 |
|-----------------------|--------|------|---------|---------|

| | | | |
|-----------------------|--------|--------|---|
| <input type="radio"/> | 自由選択科目 | 選択する学年 | 3 |
|-----------------------|--------|--------|---|

| | |
|------------------------|--|
| 選択の条件 | 書道Ⅱを履修していること。 |
| 選択のめやす | 書に興味があり、継続してさらに深く学びたい人 |
| 学習目標 (どのような力をつけるのか) | 個性豊かな表現(書く)と鑑賞(観る)の能力を伸ばす。 感性を磨き、生涯にわたって書を愛好する心情を育てる。 |
| 学習方法 (授業の進め方・学習の仕方) | 中国・日本の古典や古筆を鑑賞し、臨書する。 大きな作品や個性を生かした作品を作る。 |
| 評価方法 | 日々の授業の中で、作品の制作過程および作品を4観点を基に評価する。 作品制作へ取り組む姿勢や態度、自己の理想の作品を制作するための向上心をもってとりにくんでいるかどうかを机間支援や作品を通じて総合的に判断する。 |

学習計画
(1年間の授業計画)

| 学習内容 | 学習活動 |
|---|---|
| 楷書 行書 草書 仮名 創作①(半切・全紙・聯落) 創作②(漢字仮名交じり) | 楷書、行書、草書、仮名の発展的な学習・創作をする。 自分の選んだ漢字仮名交じりの言葉で創作する。 半切以上の大きさの画仙紙を用い、作品制作をする。 |

評価の観点

| | |
|----------|--|
| 関心・意欲・態度 | 中国及び日本の行書の文字と書の伝統と文化について関心をもち、その良さや美しさを感じ取ろうとしている。 |
| 思考・判断・表現 | 古典の比較を通して、書の構築的な構造を理解し、字形の構成や全体の構成を工夫している。 |
| 技能 | 書之美と書風の違いを理解し、その表現技法を身に付け、表現している。 |
| 知識・理解 | 書の伝統と文化について幅広く理解し、様々な書風之美や良さを感じ取っている。 |

| | | | | | |
|-----|---|----|---------------|------------------|---|
| 科目名 | 幼児教育音楽A | 教科 | 芸術 | 単位数 | 2 |
| 教材 | ①幼児のための音楽教育(教育芸術社) ②週に一度のおんがくワーク(ドレミ楽譜出版社) | | 教材費 (予定定価) | ①1,500円 ②864円 | |

| | | | | | |
|---|--------|------|---------|---------|--|
| ○ | 系列選択科目 | 必修系列 | 子どもと暮らし | 選択できる系列 | |
|---|--------|------|---------|---------|--|

| | | |
|--------|--------|---|
| 自由選択科目 | 選択する学年 | 2 |
|--------|--------|---|

| | |
|------------------------|---|
| 選択の条件 | 幼児教育を進路として目指す人。「子どもの発達と保育」を選択する人。 |
| 選択のめやす | 将来的に入試や資格取得でピアノ演奏を必要とする人。 |
| 学習目標 (どのような力をつけるのか) | 幼児教育の実践の中で必要となる音楽的な基礎知識、および基本的なピアノ演奏技能を養う。 幼児期における情操教育の大切さを認識させ、日常生活の中に根付く音楽活動を、生涯とおして行うことのできる力を高める。 |
| 学習方法 (授業の進め方・学習の仕方) | ピアノ演奏や弾き歌い等の実践的な学習、および理論的な基礎について学ぶ。 また、人前で歌うこと、演奏することに慣れるための演習をする。 |
| 評価方法 | 童謡を歌うことやピアノ演奏に取り組む様子や態度、またプリント類の取り組みや提出を通して4観点を基に総合的に判断する。また実技試験においては、技能を向上し、主体的に発表できているかを評価する。 |

学習計画
(1年間の授業計画)

| 学習内容 | 学習活動 |
|--|--|
| 1学期 4月～7月の掲載曲を歌う 楽典を学ぶ ピアノ演奏 | 掲載曲の中から毎時間1～2曲を歌い、歌を覚え、歌うことに慣れる。 楽譜のルールを学び、覚える。 童謡のメロディーを、まず片手ずつ弾けるようにし、さらに両手でも弾けるようにする。 |
| 2学期 9月～12月の記載曲を歌う ピアノ演奏 弾き歌い | 毎時間1～2曲を歌う。 コードネームを学び、ピアノにおける伴奏の基礎を、その実践を通して練習する。 教科書の中から1曲、コードを付けて弾き歌いができるようにする。 |
| 3学期 1月～3月の記載曲を歌う ピアノ演奏 | 毎時間1～2曲を歌う。 キーボードの機能を使い、合奏する。 |

評価の観点

| | |
|----------|--|
| 関心・意欲・態度 | 実技練習に積極的に取り組み、さらに高いグレードを目指して努力している。 |
| 思考・判断・表現 | 感性を働かせて、音楽の良さや美しさを感じ取っている。表現に対する自己のイメージをもっている。 |
| 技能 | 基本的なコードを覚え、その曲に合った伴奏が付けられる。また、伴奏に乗って表現豊かに弾き歌いができる。 |
| 知識・理解 | 読譜力や表現力をつけるために、楽典を学んで理解し、理論的な知識を身に付ける。 |

| | | | | | |
|-----|--|----|---------------|------------------|---|
| 科目名 | 幼児教育音楽B | 教科 | 芸術 | 単位数 | 2 |
| 教材 | ①幼児のための音楽教育(教育芸術社) ②週に一度のおんがくワーク 下巻(ドレミ楽譜出版社) | | 教材費 (予定定価) | ①1,500円 ②864円 | |

| | | | |
|--------|------|---------|---------|
| 系列選択科目 | 必修系列 | 選択できる系列 | 子どもと暮らし |
|--------|------|---------|---------|

| | | |
|------------------------------|--------|---|
| <input type="radio"/> 自由選択科目 | 選択する学年 | 3 |
|------------------------------|--------|---|

| | |
|------------------------|---|
| 選択の条件 | 幼児教育音楽Aを履修している人。 |
| 選択のめやす | 将来的に入試や資格所得に、ピアノ演奏を必要とする人。 |
| 学習目標 (どのような力をつけるのか) | 幼児教育の実践の中で必要となる音楽的な基礎知識、および基本的なピアノ演奏技能を養う。 幼児期における情操教育の大切さを認識させ、日常生活の中に根付く音楽活動を、生涯とおして行うことのできる力を高める。 |
| 学習方法 (授業の進め方・学習の仕方) | ピアノ演奏や弾き歌い等の実践的な学習、および理論的な基礎について学ぶ。 また、人前で歌うこと、演奏することに慣れるための訓練をする。 |
| 評価方法 | 童謡を歌うことやピアノ演奏に取り組む様子、またプリント類の取り組みや提出を通して4観点を基に総合的に判断する。また実技試験においては、技能を向上し主体的に発表できているかを評価する。 |

学習計画
(1年間の授業計画)

| 学習内容 | 学習活動 |
|---|--|
| 1学期 春・夏に関連する曲を歌う 楽典を学ぶ ピアノ演奏 | 掲載曲の中から毎時間1～2曲を歌い、歌を覚え、歌うことに慣れる。 さまざまな記号を学び、覚える。 童謡のメロディーに適切なコードを付けて弾き、さらに伴奏の形を変化させて弾けるようにする。 |
| 2学期 夏・秋に関連する曲を歌う ピアノ演奏 弾き歌い グループで、合奏アンサンブルを演奏する。 | 毎時間1～2曲を歌う。 より多くのコードを学び、今まで練習した曲を移調して弾けるようにする。 教科書の中から1曲、楽譜通りに弾きながら歌えるようにする。 教科書の曲を幼児が合奏できるようにアレンジして演奏する。 |
| 3学期 冬に関連する曲を歌う ピアノ演奏 | 毎時間1～2曲を歌う。 2学期に選んで練習した曲を発表する。 |

評価の観点

| | |
|----------|---|
| 関心・意欲・態度 | 実技練習に積極的に取り組み、さらに高いグレードを目指して努力している。 |
| 思考・判断・表現 | 感性を働かせて、音楽の良さや美しさを感じ取っている。表現に対する自己のイメージをもっている。 |
| 技能 | より多くのコードを覚え、その曲に合った伴奏を付けて表現豊かに歌う。 また、移調することができる。 |
| 知識・理解 | 読譜力や表現力をつけるために、楽典を学んで理解し、理論的な知識を身に付ける。 |

| | | | | | |
|-----|-------------------------|----|---------------|------------------------|---|
| 科目名 | デッサン | 教科 | 美術 | 単位数 | 2 |
| 教材 | ①基礎から身につくはじめてのデッサン(西東社) | | 教材費 (予定定価) | ①1,836円 別途教材費3,500円 | |

| | | |
|--------|------|---------|
| 系列選択科目 | 必修系列 | 選択できる系列 |
|--------|------|---------|

| | | |
|------------------------------|--------|---|
| <input type="radio"/> 自由選択科目 | 選択する学年 | 3 |
|------------------------------|--------|---|

| | |
|------------------------|---|
| 選択の条件 | 進学、就職の際にデッサンの能力が必要とされる人。 |
| 選択のめやす | 美術系進路を希望し、描写技術の向上を望む人。 |
| 学習目標 (どのような力をつけるのか) | 1年間を通して、デッサンによる画力向上を図るとともに、デッサンに必要な集中力を身に付ける。 |
| 学習方法 (授業の進め方・学習の仕方) | 描写対象物のセッティング、画材の準備をし、課題制作をする。 |
| 評価方法 | 授業で制作する作品の評価(色合いや質感の表現、描き込み具合など)。 授業への取り組みの評価(活動の様子、制作や説明を聞く姿勢、指摘された箇所を改善しているか、用具の準備や後片付けの様子など)。 |

学習計画
(1年間の授業計画)

| 学習内容 | 学習活動 |
|---|--|
| ○デッサンの知識 ・比率の取り方 ・形状理解 ・陰影の付け方 | ・対象物をじっくりと観察し、物体の特徴を捉える力、観察力を養う。 ・幅広い対象物描写する力をつける事を目指し、技術の向上を目指す。 ・実際の受験問題に取り組み、対応できるよう演習する。 |
| ○デッサンの種類 ・静物デッサン ・石膏デッサン ・人物デッサン | ・作品を講評し、良い点、反省点を理解するとともに次の制作に活かす。 |
| ○鑑賞 ・制作作品講評 | |

評価の観点

| | |
|----------|--|
| 関心・意欲・態度 | 集中して、意欲的に制作に取り組もうとしている。 |
| 思考・判断・表現 | 感性や想像力を働かせながら対象物を観察し、形状理解への考察ができる。 |
| 技能 | 画材や紙の特性を理解し、表現に活かされている。 |
| 知識・理解 | 自他の作品の良さを味わうことができる。 作品の良さや美しさを感じ取り、理解や見方を深めることができる。 |

| | | | | | | |
|-----|--------------|--|----|---------------|--------------|---|
| 科目名 | 工芸的な書 | | 教科 | 総合 | 単位数 | 2 |
| 教材 | なし | | | 教材費 (予定定価) | 用具用材費:3,000円 | |

| | | |
|--------|------|---------|
| 系列選択科目 | 必修系列 | 選択できる系列 |
|--------|------|---------|

| | | |
|------------------------------|--------|---|
| <input type="radio"/> 自由選択科目 | 選択する学年 | 3 |
|------------------------------|--------|---|

| | |
|------------------------|--|
| 選択の条件 | なし |
| 選択のめやす | 書や工芸に興味のある者。書を日常生活の中に取り入れて楽しみたい人。また、作品制作に集中するため、私語は一切禁止とするので、それに耐えられる人。 |
| 学習目標 (どのような力をつけるのか) | 感性を磨き、個性豊かな書表現と書を日常生活へ調和させる力を伸ばす。 書の伝統と文化について理解を深める。 |
| 学習方法 (授業の進め方・学習の仕方) | 様々な用具・用材を用いて、文字やことばを題材とした工芸的な作品を制作する。 |
| 評価方法 | 日々の授業の中で、作品の制作過程および作品を4観点を基に評価する。 作品制作へ取り組む姿勢や態度、自己の理想の作品を制作するための向上心をもってとりにくんでいるかどうかを机間支援や作品を通じて総合的に判断する。 |

学習計画
(1年間の授業計画)

| 学習内容 | 学習活動 |
|--|--|
| 表札 ルームプレート カルタ 篆刻 表具体験 うちわ はがき ミニ屏風 | 工芸的な技法や用材を用いた書作品を制作する。 題材は主に筆書きをする。 筆書きの草稿を作るのに十分な時間をかけ、丁寧に仕上げる。 |

評価の観点

| | |
|----------|--|
| 関心・意欲・態度 | 興味をもって、意欲的・主体的に授業が受けられている。 書に臨むにふさわしい姿勢、態度がとれている。 |
| 思考・判断・表現 | 題材選びから草稿作り、作品の完成まで、計画性をもって取り組むことができている。 |
| 技能 | 主体的な構想に基づいた、個性的創造的な表現の技能を身に付けている。 |
| 知識・理解 | 観ることの楽しみ、書の美しさや表現の効果を味わい、感じ取っている。 |